

19/6/22 「名古屋城木造天守復元事業 ここが問題！」

内田隆発言部分（半自動文字起こしアプリによる文字起こし）

皆さんこんにちは。

名古屋市民オンブズマンの事務局をしております内田隆と申します。

よろしくお願いします。

名古屋市民オンブズマンというのは税金のむだ遣いを市民の立場から追及しようという市民団体です。

これまで、官官接待とかカラ出張などいろんな税金の無駄遣いを追及してきました。

ただ、税金の無駄というのは、どういったものを無駄と見るか、やはりそれは資料がないと無駄かどうかは判断できない。

だから、まず情報公開請求という制度を使って役所の文書を入手する。

その上で、これは無駄だね、これは違法だねとなったら、それは各種制度を使ってお金を返せということを言うてくる。これがもう 30 年近くやっております。

特定の党派とか団体のための活動はしませんし、役所から補助金を一切もらわないので、様々なことをやってきました。

名古屋城に関しては 2009 年に本丸御殿の復元が着工するというので、ちょうどこの頃、リーマンショックが起こった。

皆さん非常に派遣切りとか大変なときに本丸御殿作ってる場合ですか。

いうことを問題提起した。あとこれ原寸大レプリカではないかという問題も当時若干したところですよ。

その中で名古屋城の天守閣の木造復元をしようとなつて名古屋市が出した 2013 年ごろから追及して、これは本当は無駄なのかどうかを知ろうとしてきたところですが、という話です。

ですね、これ名古屋城って、文化云々っていうことはともかく、建設費だけで 505 億円もの巨大な公共事業なんですよ。

なので、公共事業がむだかどうかを知りたいとしてこれを無駄かどうか判断して、もし無駄であれば、金返せということをするというのは各地で行われているのですが、公共事業という視点から見ると、名古屋城天守閣木造化というのは非常に特異な点があります。

それは、今回採用した「技術提案・交渉方式」というものです。

竹中工務店が「こういう案でいいですか」と提案するんですが、それは今後、名古屋市と相談し、協議して仕様を決めます、ということを採用しています。

先ほども話がありました竹中工務店は、まず、小型エレベーターをつけようという提案をしましたが、名古屋市側が拒否して、今はエレベーターをつけない。など、仕様が初め固まってないというので、なかなかどういったものかわからない。

で、情報公開請求して分かったのが、初め竹中工務店はこのように真ん中にガラス張りの階段を作ろう。という案を出しました。これね、避難ができますよ。

でも、400年前にこんなガラス張りの階段なんか特になかったので、史実に忠実じゃないと言って今はなくしてる。こういった、もう本当にどういったものが作られるかすら分かってないというのがまず一点目の特異点です。

あと二番目が、こちらが言いたいことなんですが。本当に情報公開していない、です。

有識者会議、石垣部会等は冒頭のみ撮影 OK で録音も不可です。

有識者会議ってほしい今どこでもインターネットで配布資料とか議事録を公開する、市のホームページで公開することが多いんですが、なぜか名古屋城のことは公開してません。あと今回文化庁がなんかいろいろ言ってきたと。で、今回許可が出なかったと言うんですが、どういったやりとりがなされているか情報公開請求したところ、当初出てきたのがこれです。わかりますか。見えますか。これこれ。全く非公開なんですよ。のり弁状態。

情報公開って、もう制度ができて 30 何年。になってるんで、30 年前はこういったのり弁状態が多かったんですが、今は珍しい。それが今名古屋城で行われている。何もわかりません。

あと、市民説明会って名古屋市がやってるんですが、それも「1年に1回することになるからします」ということで通り一遍のこと。

何が問題になってるんですか、文化庁が何を問題にしているかという説明はしてません。

あとですね、情報公開請求していろいろわかったのはこの資料の 18 ページに指示書というものが分かりました。

実は、河村市長は、当時の名古屋城の担当の市民経済局長に「全責任は私がとる。石垣はにおいておいて、木造天守に邁進しろ」という指示書を出していました。こういったことも一般的にはまったく言わず、情報公開請求でしか出てこなかった。

これに縛られて、名古屋市の職員はずっとやってきた。

市の職員で木造天守が 2022 年にできると思ってる人がどれぐらいいるのかわからないのですが、まあ疑問に思っても思ってもなくてもこの指示書でやってきたということがわかりました。

あとですね先ほどの真っ黒の資料、これ。これは文化庁と名古屋市が議論した中身なんです。で、実際工事をしようというのは竹中工務店さんです。竹中工務店に聞いたんですよ。これ見せて、同じくこういうでかいもん持ってって、「あんた竹中工務店さん中身知ってますか。」と。「事業あんたやるんでしょっ」て言ったら竹中工務店は「いや私は中身を知りません。」と答えました。

つまり、実際建設する竹中工務店にも知らせない。というのが、名古屋市の姿勢です。

さすがにこの竹中工務店に知らせないというのはびっくりでした。

これから情報公開するしないという二番目です。

あと法的にクリアできるのかと。エレベーターの問題、先ほど言われましたバリアフリー法等に引っかかるんじゃないかということも当然ですし、まだ建築基準法の問題、消防法、火が出たらどうするんだ、あと地震ですね防災のときどうするんだという問題が全くクリ

アできてるかどうかすら説明がなされてない。

こういった山ほど問題があるのに、もう2022年までということで、批判する資料もないし、事業があまりにも進みすぎて、木は買っちゃってると。

基本設計もやってるという、こんな事業って全国的に見ても名古屋城ぐらいなのではないかな、そう思っております。

で、もしこの法的にクリアできて何とかができてとあって、ようやく無駄かどうか、費用が今後55年間で940億円かかるらしいんです。

入場料で賄えるかどうかという話になってきます。

コンサルタントが試算したところ、もし低くても295万人は来るという資料が出てます資料2です。今後50年間で64億円の赤字になる。

来れば黒字だけれども、余り来なければ、赤字になる。という話がそういう技術的に可能か法的にクリアできるかということの後、ようやくできる。

でも今のところは全然できてませんという状況です。

これまで情報公開請求を様々やってきました。

有識者会議を傍聴して、市のホームページに載せてないんだったらオンブズマンのホームページに載せちゃえと。

あと、委員会の市議会委員会の傍聴もしてきました。

ただやっぱり情報公開がわからないので、これけしからんということを経法的に言えないかとして選んだのが、まず市長の直筆のメモがあることが分かった。

市長も文化庁に行ってるんで、なんか自分でメモしたらしいんです。

それを部下にはいと渡した。渡したら公文書になる。

それを情報公開して出てきたのがこれ。市長のなんかメモです。

資料の3というところに載ってますが、全く公開してません。

情報公開して費用かからないんですよ。公開度を高めるには予算をつける必要がない。

市長が「出す」ということを言えばいいだけなんですけどそれはしてこなかった。

なので審査請求したところ、この資料の21ページすぐに公開してきました。

市長の汚い字でいっぱい書いてありますが、「これらは全て、記者会見で言ってきたことだから、今から非公開にすることはない」という理由で公開してきた。です。

続いて、今問題になっている文化庁との面会記録も山ほどあったんで、これは裁判ですね、情報公開訴訟をしました。

はじめ593ページ中562ページが黒塗りです。

理由は「言われなき非難を避けようとしたり、立場等に拘束されることで、多様かつ自由な意見が現れなくなり、円滑な議論、検討が損なわれるおそれがある。

外部からの干渉、圧力等を受けることにより適切が意思決定ができなくなる。

未確定の段階の情報が市民の間で認知されることで意思決定されていない未確定な情報が確定されたものとして誤解されるおそれがある。」こういった理由で非公開になった。

情報公開訴訟したところ、若干出てきました。

それでも 593 ページ中 151 ページが非公開です。まだまだ、今訴訟しているところです。

これなんです、情報公開をすることで、問題点が明らかになるんですよ。

先ほど言ったエレベーターが設置されるかどうかとか、あとその他建築基準法を守られるかどうか。情報公開しなければ、市民に問題点すらわからないんです。

石垣部会が何を言ってるか、文化庁が何を言ってるかというのも、こういった元の資料を公開しないと、市民が理解できない。だからなかなか市民の名古屋城に関する意見も高まらないのかなと思っております。

あと情報公開って、なんで重要かという、前の宮城県知事かな、浅野史郎という方がいらっしゃって、「情報公開っていうのは、転ばぬ先の杖」だということですよ。

役所はどうしても自分たちで決めるので間違ふことがある。で、情報公開すると市民が「これ間違ってるよ」と先に言ってくれる。

だから情報公開を役所がして、ちょっと間違った方向を修正できるんだっていう。

今回名古屋城について全く河村市長が情報公開しなかった。

市民がなかなか間違ってるよと言いくかったので、大失敗をしている。

2022 年断念というのも、情報公開がしてこなかったからではないかな、そう思っております。

これまで市民団体、こちら名古屋市民オンブズマンが追及はしてきましたが、本来のチェック役というのは市議会なんですよ。市議会が今後予算をどう承認するかなど、本当に気になるところです。

市長も、2022 年までにできなければ切腹をするとかいろいろ言ってきましたが、すでに費用が契約約 50 億円ぐらい。使われている。

名古屋城の件について今後どうするかということは、やはりこれまでの情報を公開した上で、市民みんなで議論すべきではないかなと思っております。

これで私の方から発表を終わらせていただきます。

ありがとうございました。